

電子入札システム インストールマニュアル

～ V4.1 ～

2020年1月版

松阪市 総務部 契約監理課

目次

1	はじめに	1
2	インストールを始める前に	2
3	インストール手順	5
3.1	インストールするもの	5
3.2	インストールの流れ	6
3.3	事前準備	7
3.3.1	インストーラの入手	7
3.3.2	インストーラの解凍	8
3.3.3	アプリケーションの終了	9
3.4	「電子入札システムクライアント V4」のインストール	10
3.4.1	インストーラの表示	10
3.4.2	インストーラの実行	10
3.4.3	認証ディスク読込用ドライブの選択	12
3.4.4	設定内容の確認とインストール	13
3.4.5	Windows の再起動(修正インストールでの手順)	14
3.5	「電子入札システム通信プログラム松阪」のインストール	15
3.5.1	インストーラの表示	15
3.5.2	インストーラの実行	15
3.5.3	インストールの完了	17
4	Internet Explorer の設定手順	18
4.1	ショートカットの作成 (Windows 10 のみ)	18
4.2	インターネット一時ファイルの設定変更	20
4.3	信頼済みサイトの登録	21
4.4	信頼済みルート証明書登録の確認	24
5	アンインストール (削除) 手順	27
5.1	アンインストールの実行	27
6	参考情報	30
6.1	インストールに関する Q & A	30
6.2	電子入札システムの修正インストールが必要なケース	36

本書で使用している主なパソコン用語

インストール

新しいソフトをパソコンに組み込むこと。

アンインストール

既にパソコンに組み込んであるソフトを削除すること。

OS

本マニュアルでは Microsoft Windows のこと。

管理者 (Administrator) 権限

Windows 搭載のパソコンで全ての機能を使えるユーザ権限。

1 はじめに

本マニュアルでは、電子入札システムプログラムのインストール（パソコンへの組み込み）方法について説明します。本書で使用しているパソコン画面の図と、お持ちのパソコンの画面では、ご利用の OS や設定環境の違いにより、デザインが若干異なることがあります。



必ずインストールマニュアル（本書）を見ながら、手順どおりにインストールしてください。手順どおりに行わないと、電子入札システムが正常に動作しない可能性があります。

マニュアル中のマークの説明



注意事項

電子入札システムをインストールする際の注意事項が記載されています。必ず確認してください。



参考情報

電子入札システムをインストールする際に役立つ情報が記載されています。

2 インストールを始める前に

電子入札システムをインストールする前に、以下の事項についてご確認ください。

◆ 『電子入札システム インストーラ』のダウンロード

電子入札システム ダウンロードページより電子入札システムのソフトウェアをダウンロードしてください。

◆ 動作環境の確認

ご利用のパソコンが以下の動作環境を満たしていることをご確認ください。

対応 OS

Microsoft Windows 8.1 (64bit) (無印) / Pro

Microsoft Windows 10 (64bit) Home / Pro

※上記に記載のない OS (Windows XP / Vista / 7 / 8, Mac OS, Linux など) には対応していません。

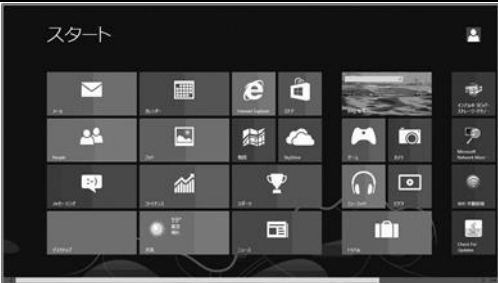
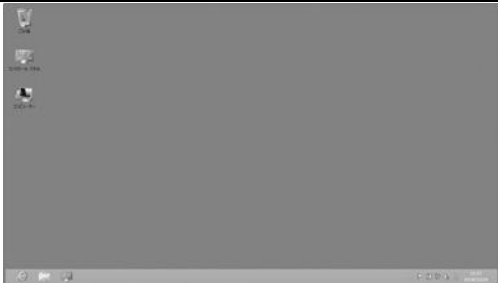
※日本語版以外の Windows には対応していません。

※32bit 版の Windows には対応していません。

制限事項

Windows 8.1 のスタート画面には対応していません。

電子入札システムの操作は、全てデスクトップ画面で行ってください。

スタート画面	デスクトップ画面
	
× 電子入札システムを利用できません。	○ こちらの画面から操作してください。

◆ 対応ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11.0

※Windows 10 をご利用の場合は、以下の制限事項を確認してください。

制限事項

Windows 10 の標準ブラウザ 「Microsoft Edge」 には対応しておりません。
必ず Internet Explorer をご利用ください。

イメージ	ブラウザ	対応状況
	Microsoft Edge	電子入札システムを使用できません。
	Internet Explorer	電子入札システムを使用できます。

◆ ハードウェア条件

項目	条件
機種	対応 OS に示す正規の Microsoft Windows を標準搭載する機種であること。 ※仮想マシン環境や複数 OS のデュアルブート環境での動作には対応しておりません。
メモリ	2 GB 以上のメモリを搭載していること。
ハードディスク	200MB 以上のハードディスク空き容量があること。
周辺装置	CD ドライブまたは DVD ドライブが備え付けてあること。 ※Windows で光学式ドライブとして認識され、CD-ROM・CD-R メディアの読み出しが可能であること。

◆ ポート番号

電子入札システムでは、パソコンの以下のポートを使用します。

他のソフトウェアでポートが使用されている場合は、対象のソフトウェアを停止してから電子入札システムをご利用ください。

ソフトウェア名称	ポート番号／プロトコル
電子入札システム通信プログラム松阪	9 4 3 2 / TCP

◆ パソコンに管理者権限のあるユーザでログオン

本マニュアルにて行う作業は、管理者（Administrator）権限を必要とします。
インストールを開始する前に、管理者（Administrator）権限でログオンしてください。



ご利用ユーザの権限が不明の場合は、本マニュアル後述の Q&A「**管理者（Administrator）権限とは何ですか？**」を参照してください。

◆ 外付け CD（DVD）ドライブを利用する際の注意点

USB 接続等の外付け CD（DVD）ドライブを認証ディスクの読込用として利用する場合は、インストール途中で認証ディスク読込用ドライブの指定をする必要がありますので、外付け CD（DVD）ドライブを接続したあとで、インストールを始めてください。

3 インストール手順

3.1 インストールするもの

電子入札システムを利用するためには、インストーラ内に含まれている、以下のプログラムをインストールする必要があります。

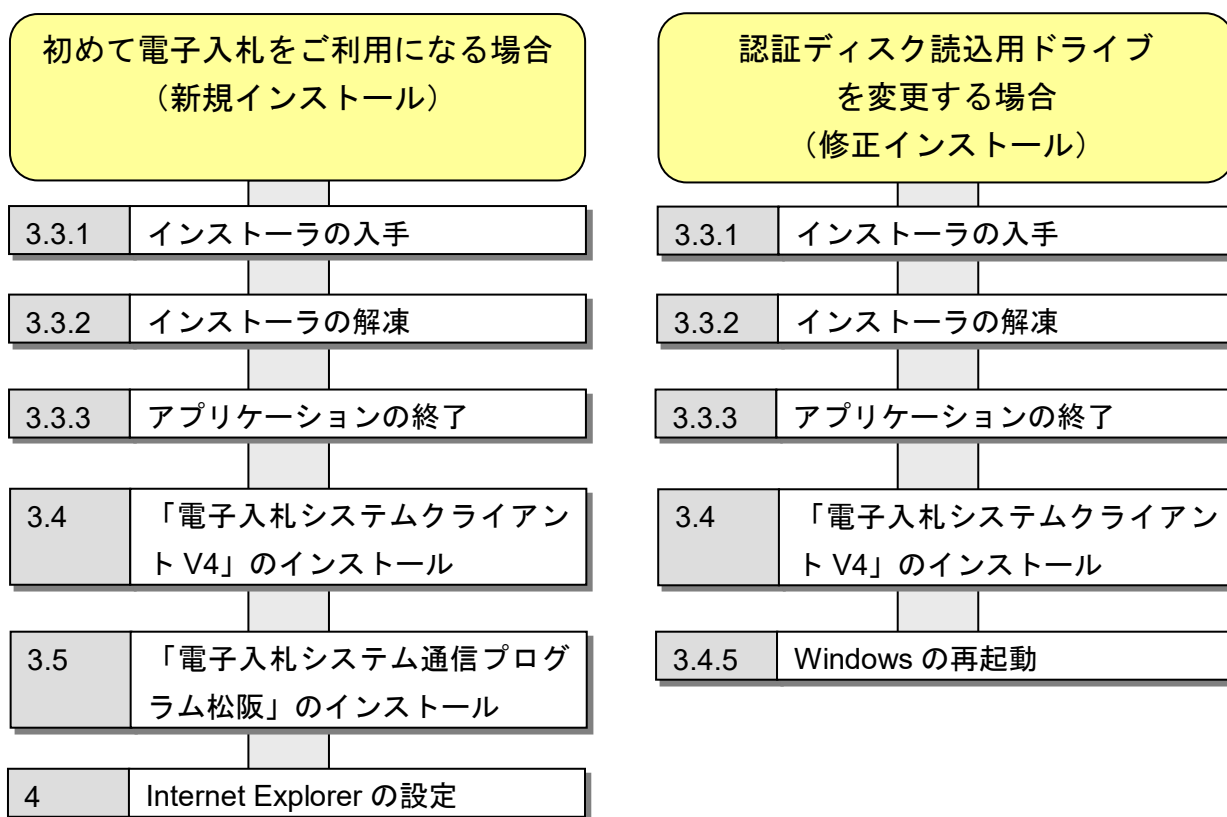
- 電子入札システムクライアント V4
- 電子入札システム通信プログラム松阪
- 電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書



インストール中に『キャンセル』をクリックすると、作業が中断してしまい、インストールが正常に行われませんので、『キャンセル』しないようにご注意ください。もし誤って『キャンセル』をクリックしてしまった場合は、最初からやり直してください。

3.2 インストールの流れ

初めて電子入札システムを利用（インストール）する場合と、認証ディスク読込用のドライブ変更などで修正インストールを行う場合で、操作する内容に若干の違いがあります。以下に概要を示します。



電子入札システムのインストール後に、認証ディスク読込用ドライブを変更するには、上図「認証ディスク読込用ドライブを変更する場合」の通り、修正インストールを実施する必要があります。

3.3 事前準備

3.3.1 インストーラの入手

電子入札システムのインストールを行うためには、インストーラをダウンロードし、入手する必要があります。

インストーラのダウンロード

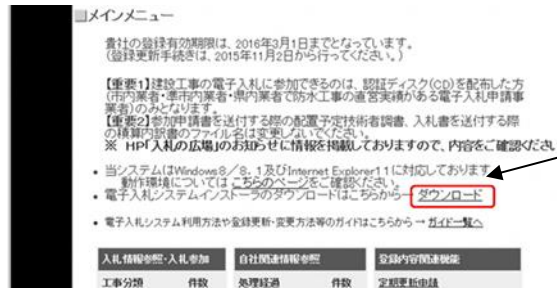


図 3.3.1-1 インストーラの保存①

【電子入札システムにログインして、メインメニューを表示します。メインメニュー上部のお知らせ欄の「電子入札システムのインストーラのダウンロードはこちらから→」の**ダウンロード**のリンクをクリックしてファイルをダウンロードします。

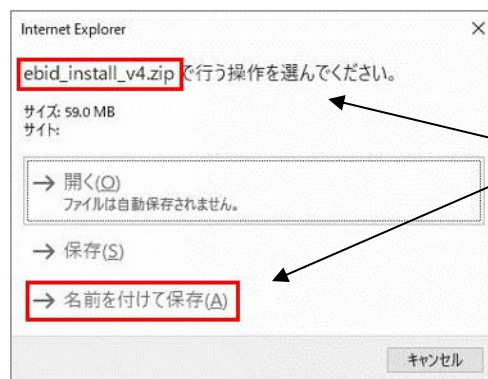


図 3.3.1-2 インストーラの保存②

「ebid_install_v4.zip」と表示されていることを確認し、「名前を付けて保存」をクリックします。

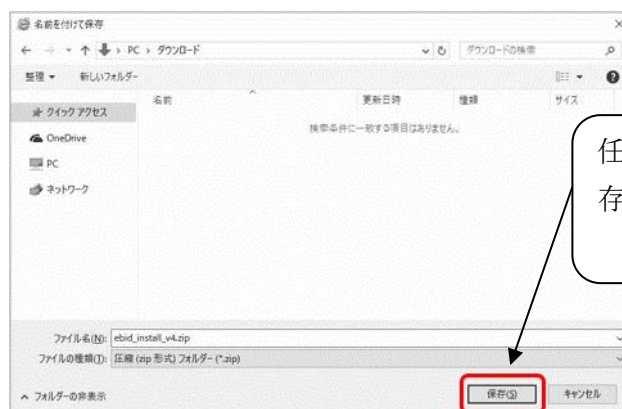


図 3.3.1-3 インストーラの保存③

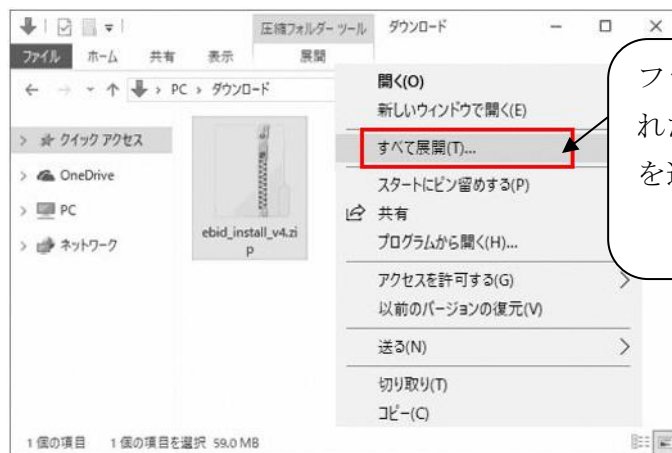
任意のフォルダにファイルを「保存」します。

3.3.2 インストーラの解凍

ダウンロードした「ebid_install_v4.zip」ファイルは ZIP 形式の圧縮ファイルになっています。

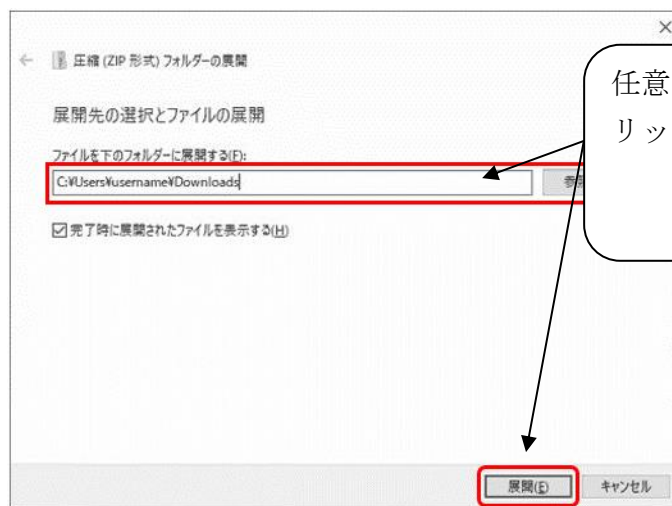
ファイル圧縮・解凍ソフトを使用して、ダウンロードしたファイルを解凍してください。ここでは、Windows の機能を利用して解凍する方法を例として記載します。

ダウンロードしたファイルの解凍



ファイルを右クリックして表示されたメニューから「すべて展開」を選択します。

図 3.3.2-1 圧縮ファイルの解凍①



任意のフォルダを選択し、展開をクリックします。

図 3.3.2-2 圧縮ファイルの解凍②

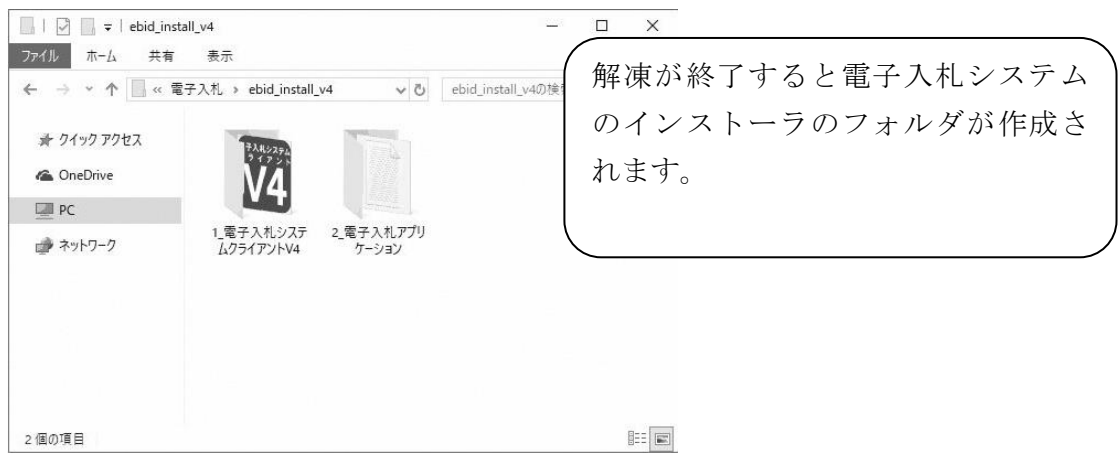


図 3.3.2-3 圧縮ファイルの解凍③

3.3.3 アプリケーションの終了

電子入札システムのインストールを行う前に、Internet Explorer 等の利用中のアプリケーションを全て終了してください。

3.4 「電子入札システムクライアント V4」のインストール

3.4.1 インストーラの表示

「1_電子入札システムクライアント V4」のフォルダを表示します。

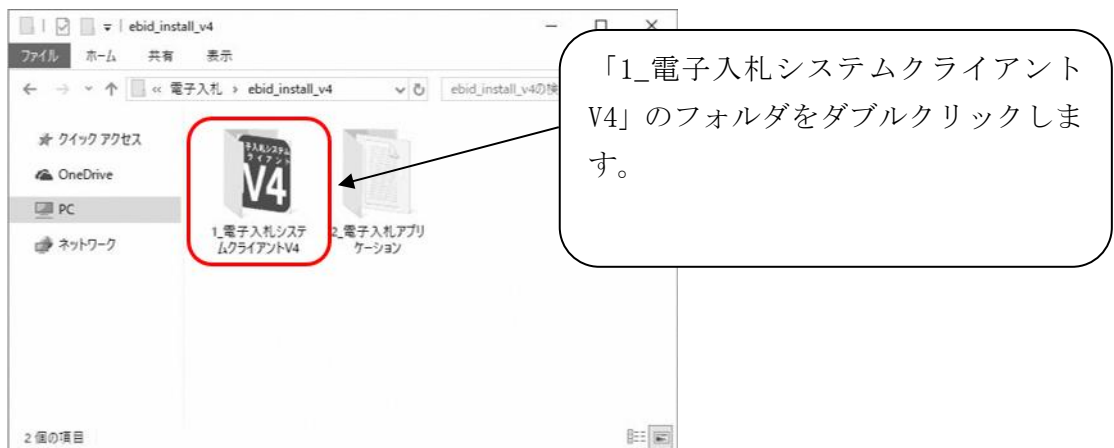


図 3.4.1-1 フォルダの表示

3.4.2 インストーラの実行

フォルダ内の「ebid_setup.exe」を実行します。

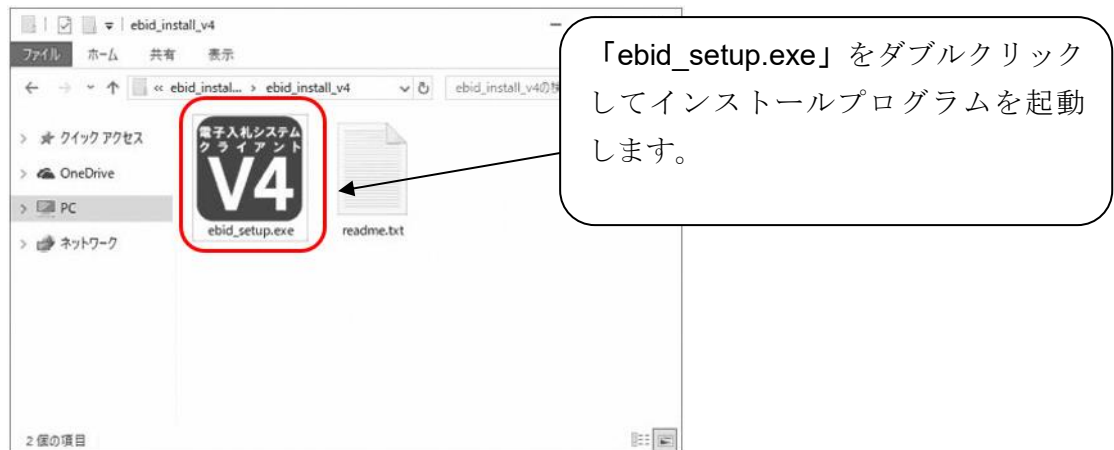


図 3.4.2-1 インストーラの実行

インストーラの実行を許可する。

ユーザアカウント制御により、インストーラの起動が制限されることがあります。インストーラの実行許可を求められた場合は、実行を許可し、「ebid_setup.exe」を実行してください。

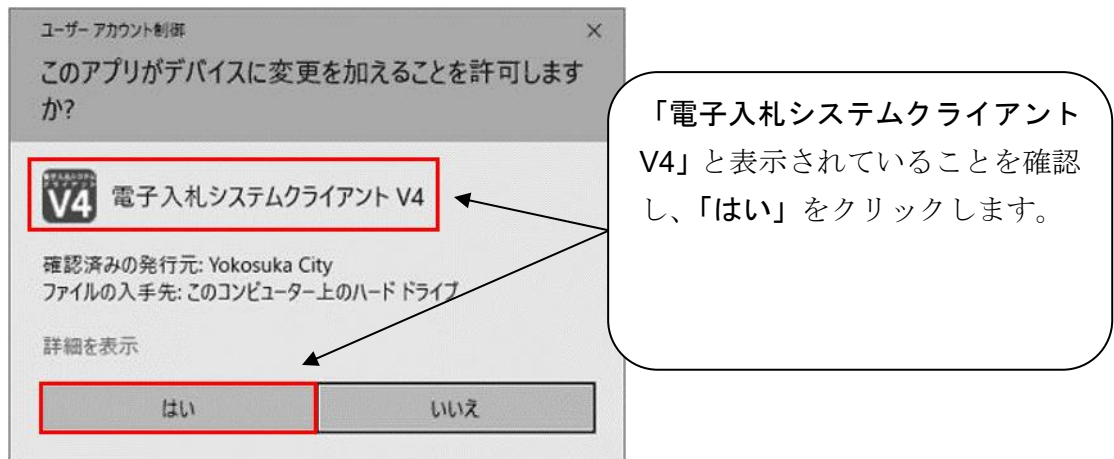


図 3.4.2-2 ユーザアカウント制御による制限

電子入札システムのインストールを開始する。

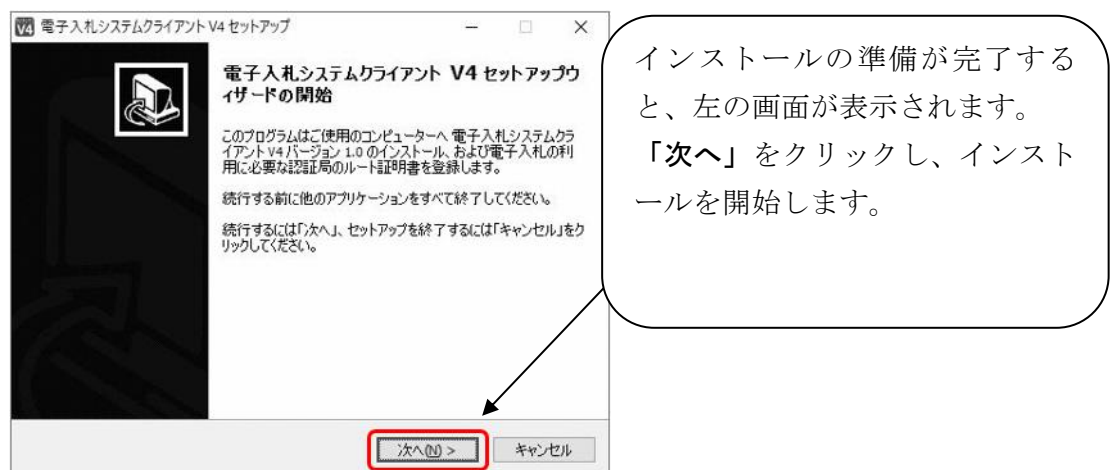


図 3.4.2-3 インストール開始画面

3.4.3 認証ディスク読込用ドライブの選択

入札書等の送付時に認証で利用する、認証ディスクの読込用ドライブを選択します。

認証ディスク読込用ドライブの選択手順

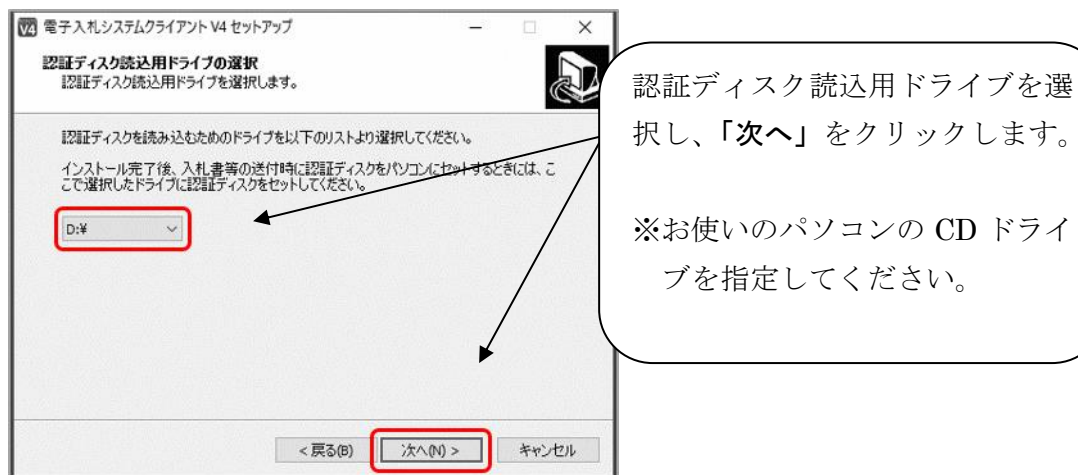


図 3.4.3-1 認証ディスク読込用ドライブ選択画面

認証ディスク読込用ドライブ選択のヒント…



認証ディスク読込用ドライブを後から変更するためには、電子入札システムの再インストールが必要になります。

選択したドライブを忘れないようメモしておくことをお勧めします。

3.4.4 設定内容の確認とインストール

設定内容をもとに、電子入札システムのファイルをパソコンにコピーします。

ファイルのコピー手順 その1 設定内容を確認しインストールする。



図 3.4.4-1 ファイルコピー開始画面

ファイルのコピー手順 その2 インストールを完了する。

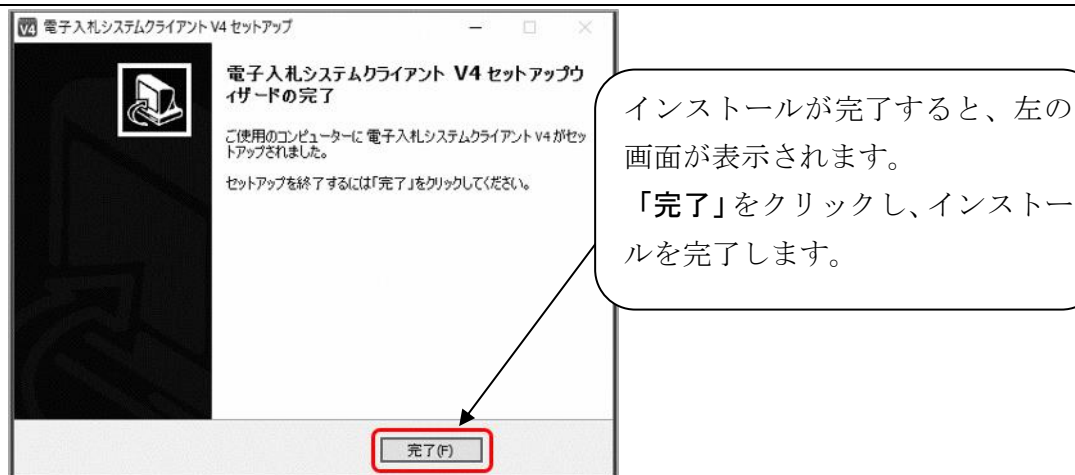


図 3.4.4-2 インストール完了画面

3.4.5 Windows の再起動(修正インストールでの手順)

認証ディスク読込用ドライブを変更するときなど、修正インストールを行う場合は、インストール完了後に Windows の再起動が必要になります。



電子入札システムのインストール後、自動的に Windows が再起動することはありません。必ず手動で再起動を実施してください。

3.5 「電子入札システム通信プログラム松阪」のインストール

3.5.1 インストーラの表示

「2_電子入札アプリケーション」のフォルダをダブルクリックしてファイルを表示します。

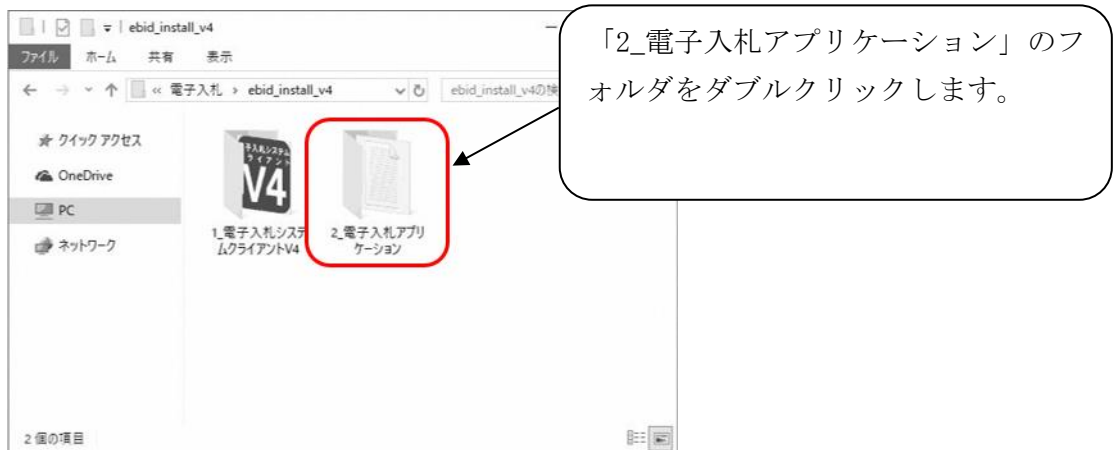


図 3.5.1-1 フォルダの表示

3.5.2 インストーラの実行

フォルダ内の「eblink-matsusaka_setup.exe」を実行します。



図 3.5.2-1 インストーラの実行

インストーラの実行を許可する。

ユーザアカウント制御により、インストーラの起動が制限されることがあります。インストーラの実行許可を求められた場合は、実行を許可し、「eblink-matsusaka_setup.exe」を実行してください。

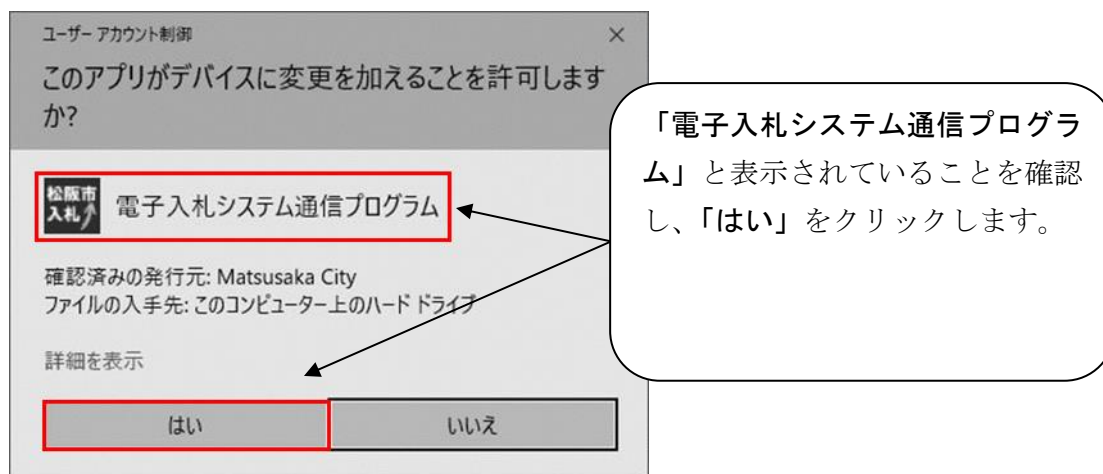


図 3.5.2-2 ユーザアカウント制御による制限

電子入札システムのインストールを開始する。

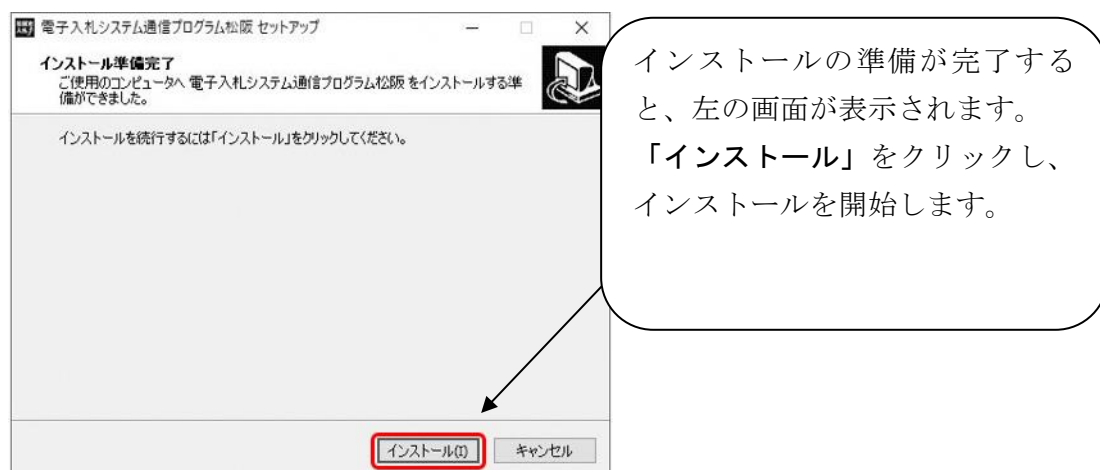


図 3.5.2-3 インストール開始画面

3.5.3 インストールの完了



インストールが完了すると、左の画面が表示されます。

「完了」をクリックし、インストールを完了します。

図 3.5.3-1 インストール完了画面

電子入札システムのインストール作業は完了です。

引き続き「4 Internet Explorer の設定手順」を行ってください。

4 Internet Explorer の設定手順

電子入札システムを利用するためには、Internet Explorer の設定（インターネットオプション）を変更する必要があります。



Internet Explorer の設定が行われていないパソコンでは、電子入札システムが正常に動作しません。必ず設定作業を行ってください。

4.1 ショートカットの作成（Windows 10 のみ）

Windows 10 をご利用の方は、Internet Explorer のショートカットをタスクバーに作成してください。

1. タスクバーの左端にある検索ボックス（「ここに入力して検索」など）に「internet explorer」と入力します。



図 4.1-1 「Web と Windows を検索」の選択画面

※検索ボックスの表示がない場合

「スタート（画面左下隅の  マーク）」ボタンをクリックし、メニューが表示された状態でキーボードから文字を入力すると検索画面が表示されます。

2. 入力した上部に「Internet Explorer デスクトップ アプリ」のアイコンが表示されていることを確認します。

3. 「Internet Explorer デスクトップ アプリ」のアイコンを右クリックすると、「タスクバーにピン留め」が表示されますので、「タスクバーにピン留め」をクリックします。

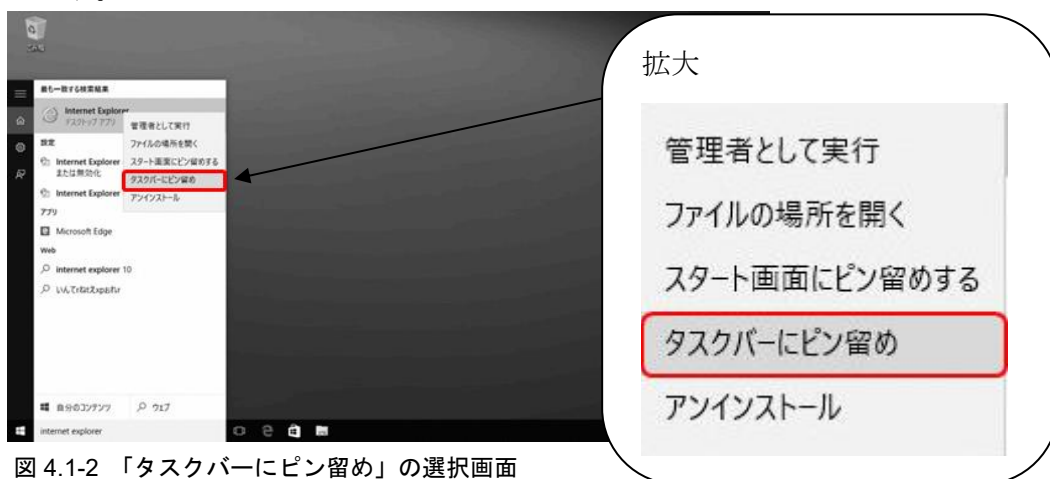


図 4.1-2 「タスクバーにピン留め」の選択画面

4. タスクバーに「Internet Explorer」のショートカットが表示されていることを確認します。



図 4.1-3 タスクバーへの表示

電子入札システムをご利用の際は、作成したショートカットから Internet Explorer を起動してください。

4.2 インターネット一時ファイルの設定変更

1. Internet Explorer を起動します。
2. Internet Explorer のメニューから「ツール」（または「ツール」ボタン）→「インターネットオプション」をクリックします。



図 4.2-1 ツールボタンからの選択画面

2. 「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」の「設定(S)」をクリックします。

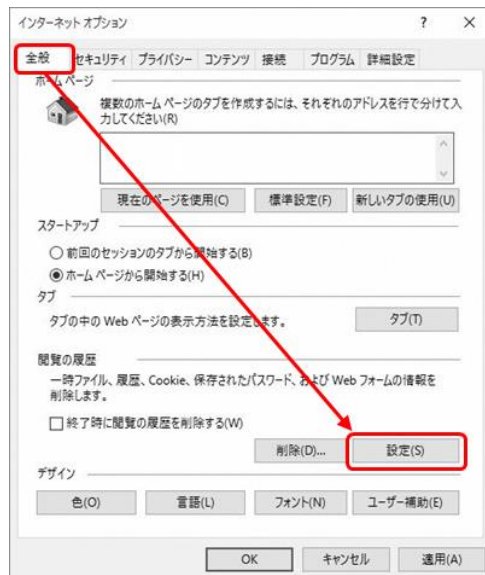


図 4.2-2 全般タブ画面 (Windows 10 IE11.0)

3. 「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」を「Web サイトを表示するたびに確認する(E)」に設定し、「OK」をクリックします。

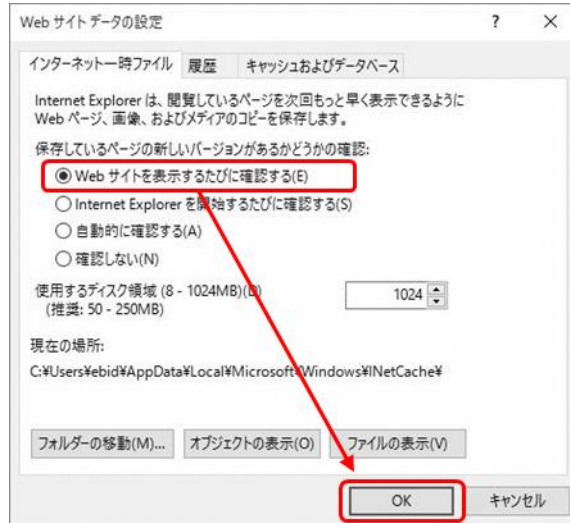


図 4.2-3 インターネット一時ファイルの設定画面 (Windows 10 IE11.0)

4. 「OK」をクリックし、インターネットオプション画面を終了します。

4.3 信頼済みサイトの登録

1. 本市の電子入札サイトにアクセスし、ログイン画面を表示させます。
2. Internet Explorer のメニューから「ツール」(または「ツール」ボタン) → 「インターネットオプション」をクリックします。

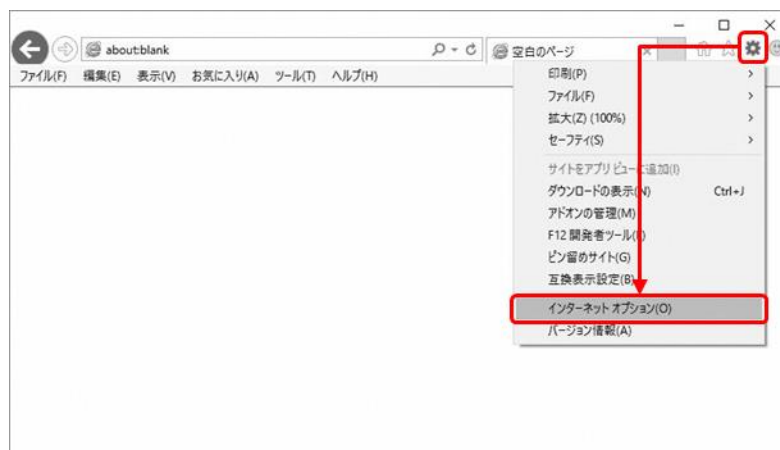


図 4.3-1 ツールボタンからの選択画面

3. 「セキュリティ」タブをクリックします。
4. 「信頼済みサイト」をクリックします。

5. 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を「中」に設定します。
セキュリティのレベルが「カスタム」となっていた場合は、「規定のレベル(D)」をクリックしてください。

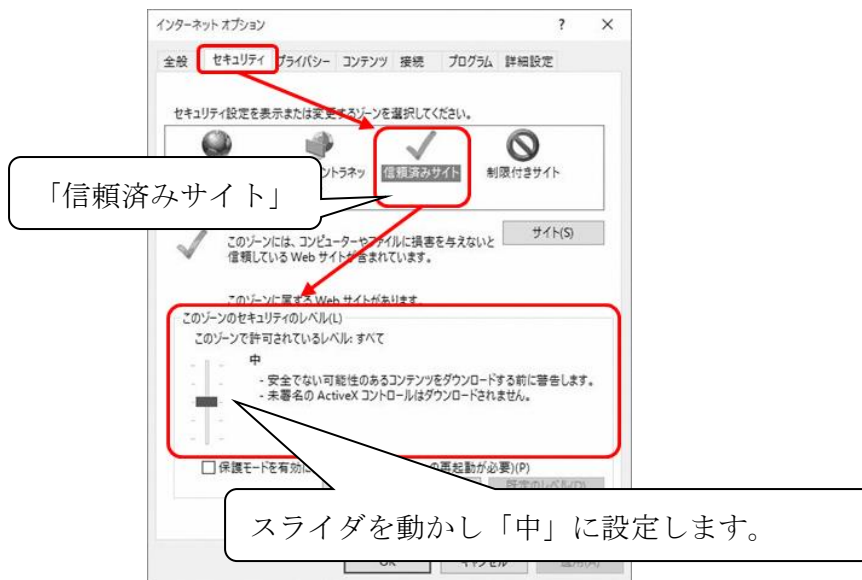


図 4.3-2 セキュリティタブ画面 1 (Windows 10 IE11.0)

6. [保護モードを有効にする] のチェックが外れていることを確認します。
7. 「サイト(S)」をクリックします。

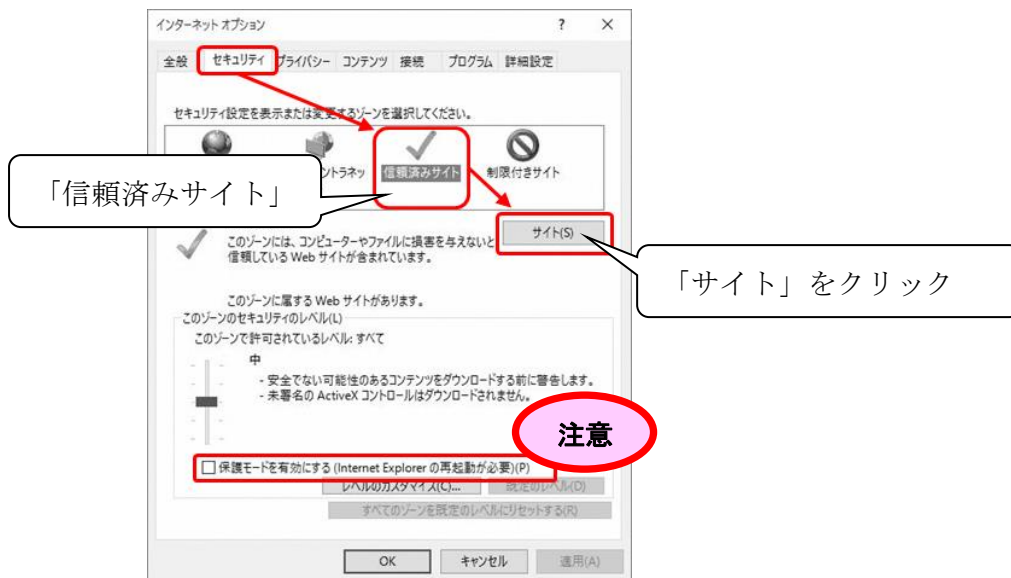


図 4.3-3 セキュリティタブ画面 2 (Windows 10 IE11.0)

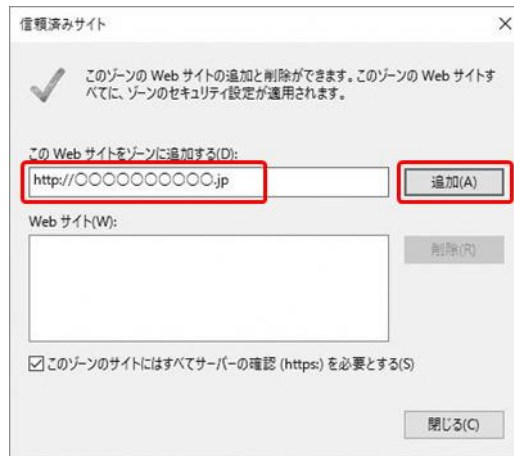


信頼済みサイトの [保護モードを有効にする] は必ずチェックをはずしてください。

8. 信頼済みサイトとして追加しようとしているアドレスが、ログイン画面に表示されているアドレスの一部であることを確認し「追加」をクリックします。

例) <https://e-bids.city.matsusaka.mie.jp>

https から.jp の部分までを信頼済みサイトに追加します。



信頼済みサイトを追加登録します。
追加後は「閉じる」→「OK」をクリックし、インターネットオプションを終了後、Internet Explorerを終了します。

図 4.3-4 信頼済みサイト設定画面

9. 「閉じる」→「OK」をクリックし、インターネットオプション画面を終了します。
10. Internet Explorer を全て終了します。
11. Internet Explorer を再度起動し、本市の電子入札システムにログインします。
12. Internet Explorer のメニューから「ファイル」→「プロパティ」をクリックし、プロパティ画面を表示します。
13. プロパティ画面のゾーンに「信頼済みサイト | 保護モード：無効」と表示されていることを確認します。



図 4.3-5 プロパティ画面 (Windows 10 IE11.0)

4.4 信頼済みルート証明書登録の確認

1. Internet Explorer を起動します。
2. Internet Explorer のメニューから「ツール」（または「ツール」ボタン）→「インターネットオプション」をクリックします。

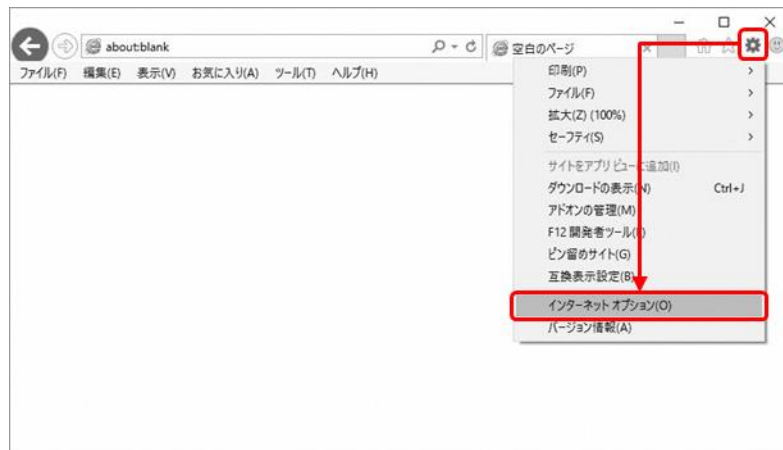


図 4.4-1 ツールボタンからの選択画面

3. 「コンテンツ」タブをクリックします。
4. 「証明書」をクリックします。

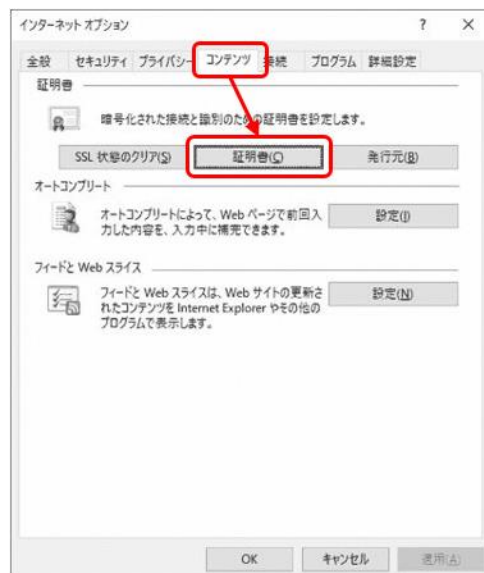


図 4.4-2 コンテンツタブ画面

5. 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックします。
6. 発行先／発行者に「Yokosuka City CA」が登録されていることを確認します。
7. 「Yokosuka City CA」を選択し、「表示」をクリックします。

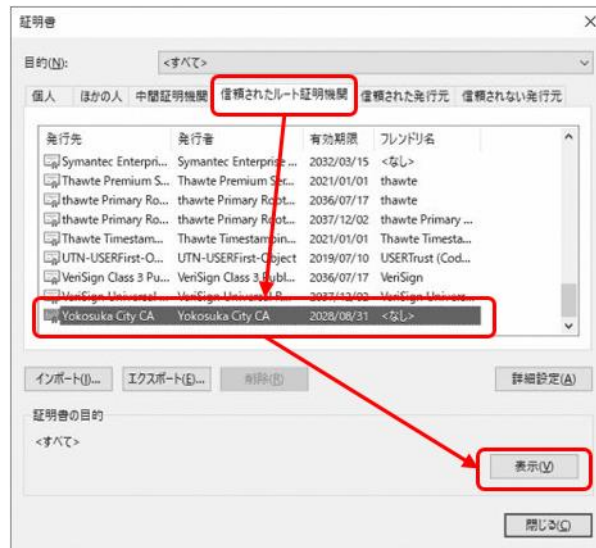


図 4.4-3 信頼されたルート証明機関タブ画面

8. 「詳細」タブをクリックします。
9. 電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書情報と一致することを確認します。

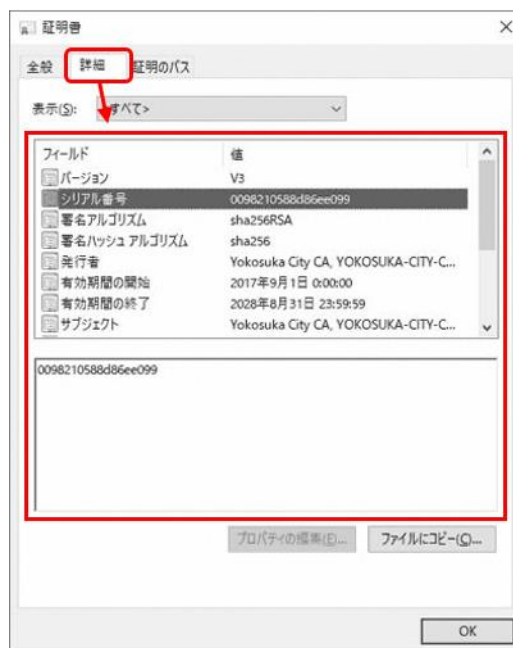


図 4.4-4 証明書詳細タブ画面

電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書情報

フィールド名	値
シリアル番号	0098210588d86ee099
発行者 サブジェクト	CN = Yokosuka City CA OU = YOKOSUKA-CITY-CA O = YOKOSUKA-CITY C = JP
有効期間の開始	2017年9月1日 0:00:00
有効期間の終了	2028年8月31日 23:59:59
拇印	a227dbb586afed4185522a256aa8d03aa5d64b6a

10. 「OK」→「閉じる」→「キャンセル」の順にクリックして画面を閉じます。

以上で Internet Explorer の設定は全て完了です。

本市が用意する練習案件に参加し、入札書を送付できるかを確認してください。

5 アンインストール（削除）手順

5.1 アンインストールの実行

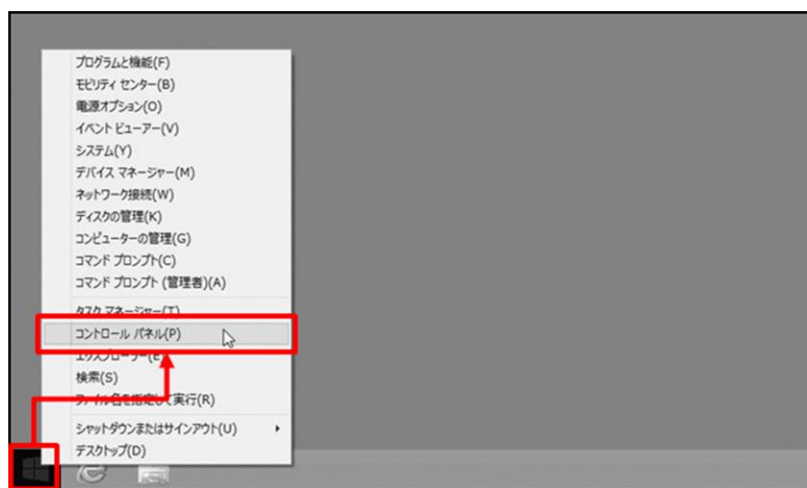
電子入札システムをご利用のパソコンから削除する場合は、Windows のコントロールパネルからアンインストールを行ってください。

アンインストール手順

1. 「コントロールパネル」を表示します。

Windows 8.1

「スタート（画面左下隅の  マーク）」ボタンを右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。



Windows 10

タスクバーの左端にある検索ボックス（「ここに入力して検索」など）に「コントロールパネル」と入力し、検索結果から「コントロールパネル デスクトップアプリ」をクリックします。



2. 「プログラムのアンインストール（または「プログラムと機能）」をクリックします。



図 5.1-2 コントロールパネル画面

3. プログラムのリストから「電子入札システムクライアント V4」をクリックします。

4. 「アンインストール」をクリックします。

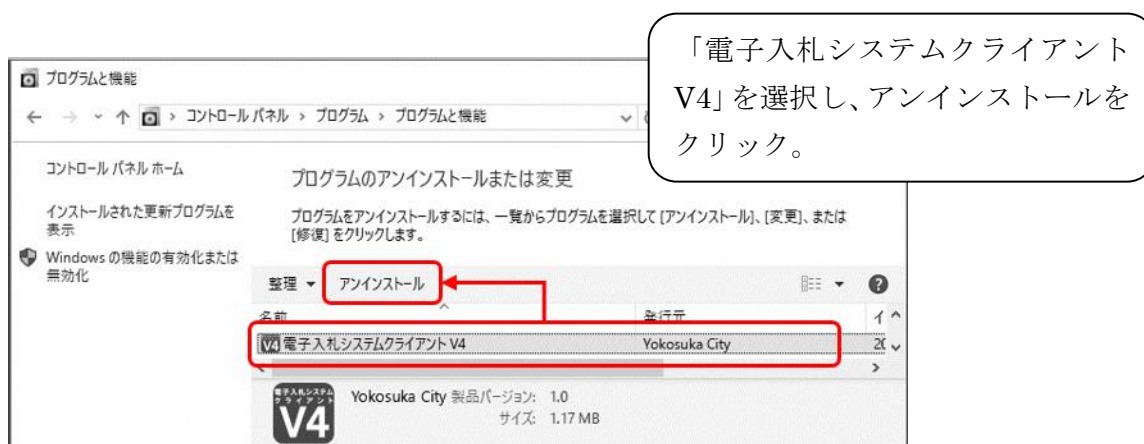


図 5.1-3 プログラムと機能画面①

5. 「完全に削除しますか？」の画面に対して「OK」を選択します。

6. 「電子入札システムクライアント V4」のアンインストール完了を待ちます。
7. 「プログラムのアンインストール（または「プログラムと機能」）」を表示します。
8. プログラムのリストから「電子入札システム通信プログラム松阪」をクリックします。
9. 「アンインストール」をクリックします。



図 5.1-4 プログラムと機能画面②

10. 「すべて削除します。よろしいですか？」の画面に対して「はい」を選択します。

6 参考情報

6.1 インストールに関する Q & A

電子入札システムのインストールで疑問点等ありましたら、まずこちらを確認してください。

Q 管理者 (Administrator) 権限とは何ですか？

A Windows パソコンで全ての機能を使えるユーザ権限のことです。

ユーザアカウントの種類を確認する方法

1. Windows の「コントロールパネル」を表示します。
2. 「ユーザアカウントと家族のための安全設定 (ユーザアカウントとファミリーのセーフティ)」、「ユーザアカウント」の順にクリックします。
3. アカウント情報に、「Administrator」と表示されている場合は、管理者権限のユーザアカウントです。



図 6.1-1 ユーザアカウント画面 (Windows 10)

Q 管理者（Administrator）権限がありませんがインストールできますか？

A 管理者権限がない場合、電子入札システムのインストールはできません。
ご利用のパソコンの管理者に問い合わせて、管理者権限を取得してください。

Q インストールが正常に完了しているかの確認方法を教えてください。

A Internet Explorer を使って本市が用意する練習案件に参加し、入札書を送付できるかを確認してください。
練習案件の掲示状況は本市電子入札システムの発注掲示板にてご確認ください。

Q 事業所内の複数のパソコンにインストールしてよいですか？

A 複数のパソコンに電子入札システムをインストールしても問題ありません。
ただし、同時に複数人で電子入札システムにログインし、操作することはおやめください。

Q パソコンOSのバージョン（32ビット／64ビット）が不明です。

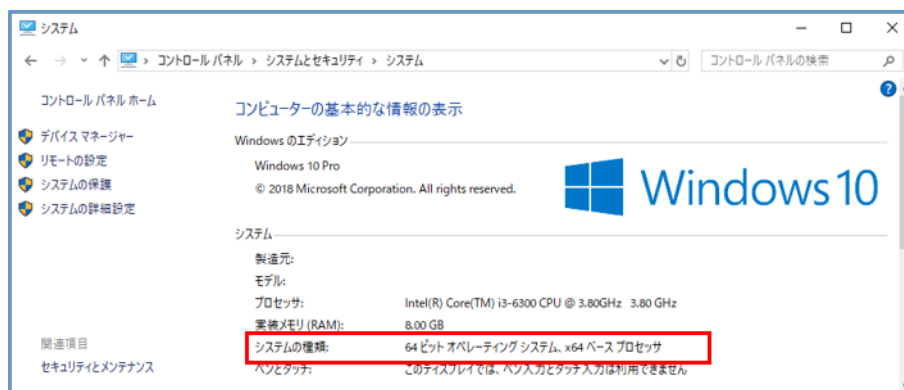
A 以下の操作手順を参考に確認を行ってください。

1. [Windows]キー  + [Pause]キー を押してください。

※お使いのキーボードの配列によっては[Pause/Break]となっていたり、一部ノートパソコンによっては、[Fn]キーを同時に押す必要がある場合があります。



2. 「コンピューターの基本的な情報の表示」が表示されますので、「システムの種類」を確認します。



システムの種類が「64 ビット オペレーティングシステム」と表示されていれば、64 ビット版の Windows がインストールされています。

Q Internet Explorer のバージョンが不明です。

A Internet Explorer の「ヘルプ」メニューから確認することが出来ます。

Internet Explorer のバージョン確認手順

1. Internet Explorer を起動します。
2. 「ヘルプ」メニューを開き、「バージョン情報」をクリックします。
メニューが表示されていない場合は、キーボードから「Alt」→「H」の順にキーを押してください。

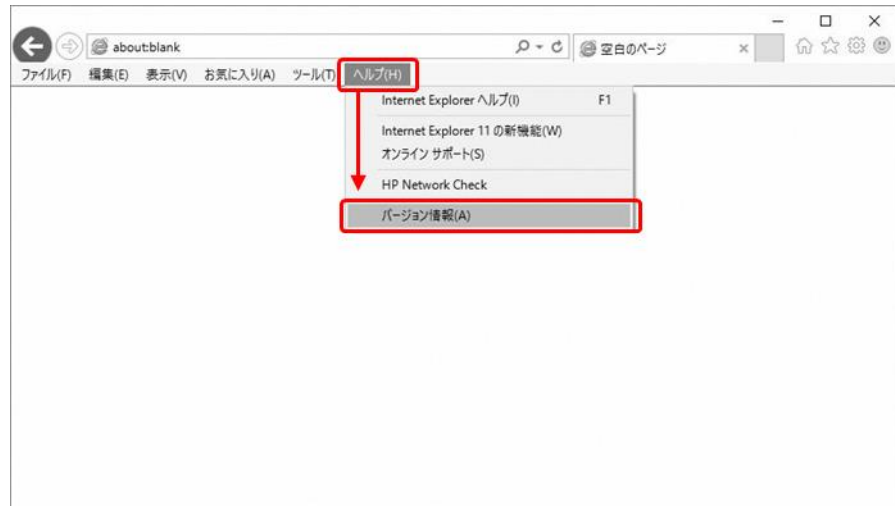


図 6.1-2 ヘルプメニューの表示 (Windows 10)

3. 表示されたバージョン情報を確認します。

Internet Explorer 11.0 の例



図 6.1-3 Internet Explorer 11.0 バージョン情報

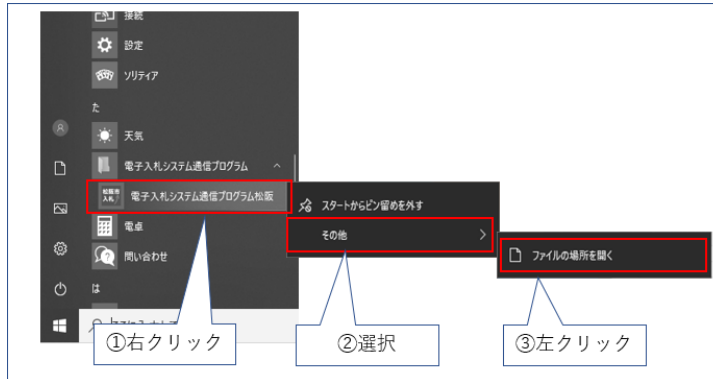
Q 毎回、スタートメニューから電子入札システム通信プログラムの起動が必要ですか？

A 電子入札の参加申請・入札書送信を行う場合は毎回電子入札システム通信プログラム起動の必要があります。

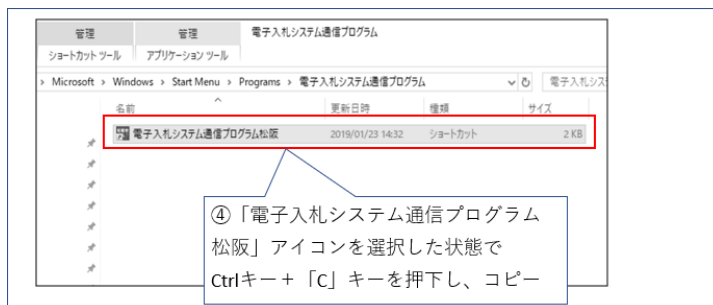
起動手順を簡便化する方法として、次の①、②の方法があります。

① デスクトップ画面にショートカットを作成する。

1-1. Windows10 の場合、スタートメニューを開き、以下の①～③の手順で「電子入札システム通信プログラム」のショートカットの場所を開きます。



1-2. 「電子入札システム通信プログラム」のショートカットをコピーします。



1-3. 「電子入札システム通信プログラム」のショートカットをデスクトップ画面に貼り付けます。



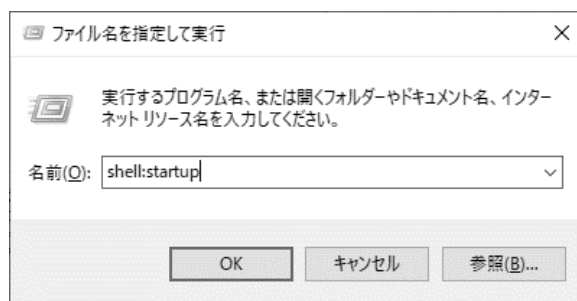
1-4. 「電子入札システム通信プログラム」のショートカットをダブルクリックし、プログラムが起動することを確認してください。

2 「スタートアップ」へ登録を行いパソコン起動時に毎回自動起動させる。

2-1. 前述の1-1、1-2の手順を行い「電子入札システム通信プログラム」のショートカットをコピーします。

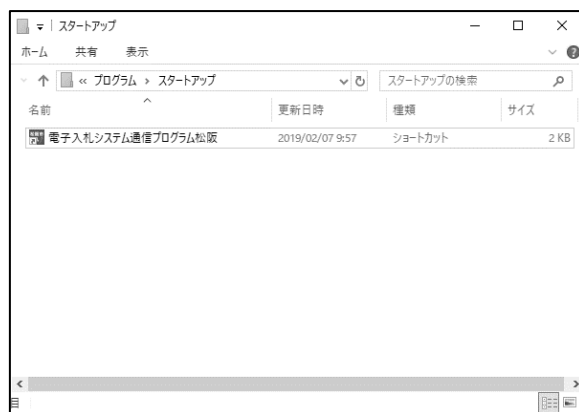
2-2. スタートアップメニューに登録します。

キーボードの「Windows」キー  を押しながら「R」キーを押すと「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。



名前欄に「shell:startup」を入力し、「OK」をクリックします。

2-3. スタートアップに登録するフォルダが開くので、2-1の手順でコピーした「電子入札システム通信プログラム」のショートカットを、「Ctrl」キー＋「V」キーを押下し貼り付けます。



2-4. Windows を再起動して、「電子入札システム通信プログラム」が自動で起動することを確認してください。

「電子入札システム通信プログラム」の自動起動を行いたくない場合は、ここに登録したショートカットを削除してください。

6.2 電子入札システムの修正インストールが必要なケース

電子入札システムのインストール後に、パソコンの構成などに変更がある場合に、修正インストールが必要となることがあります。

以下の項目に該当する場合は、本マニュアル「3.2 インストールの流れ」の「修正インストール」手順に従い、電子入札システムの再設定を行ってください。

● パソコンの構成に変更がある場合

パソコンにハードディスク装置を追加したとき等、パソコンの構成が電子入札システムインストール時から変更になる場合は、認証ディスク読込用ドライブ名がインストール時と同じドライブ名となっていることを確認してください。

インストール時に指定したドライブ名と異なる場合は修正インストールを行う必要があります。

例) インストール時に認証ディスク読込用ドライブを E ドライブで設定した場合は、入札書等の送付時も E ドライブである必要があります。

外付け CD (DVD) ドライブを利用している場合、複数の外付け機器を接続した時にもドライブ名が変わることがあります。



必ず修正インストールを行ってください。

電子入札システムが正しく動作しなくなる可能性があります。

商標等

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。マイクロソフト製品は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。